

王の預言者

シリーズ～預言者の声～

2022/7/24

イザヤの預言

- 繁栄がもたらした罪を裁かれる義なる神
 - 格差社会・政治の腐敗・靈的傲慢
 - 「主は必ず火をもって裁きに臨まれ／剣をもってすべて肉なる者を裁かれる。主に刺し貫かれる者は多い。」66:16
- 「残りの者」から再興される
 - 「切り倒されたテレビンの木、櫟の木のように。しかし、それでも切り株が残る。その切り株とは聖なる種子である。」6:13
- 苦難を通して王となるメシア
 - 「わたしは多くの人を彼の取り分とし／彼は戦利品としておびただしい人を受け。彼が自らをなげうち、死んで／罪人のひとりに数えられたからだ。」53:12

アッシリア帝国の脅威

• ヒゼキヤ王の登場

- ウジヤ>ヨタム(善王)>アハズ(悪王)>ヒゼキヤ
- 「彼は、父祖ダビデが行ったように、主の目にかなう正しいことをことごとく行い」(列王下18:3)

• 北イスラエル王国の滅亡(BC722年)

- ヒゼキヤ王の治世第七年にアッシリアによって北イスラエル王国が滅ぼされた(17:1)

• 南ユダ王国にも攻め込んできたアッシリア

- 「ヒゼキヤ王の治世第十四年に、アッシリアの王センナケリブが攻め上り、ユダの砦の町をことごとく占領した。」(イザヤ書36:1)

- イザヤ書36～39章⇨列王記下18:9～20章

• アッシリアの使者による脅しと嘲り

- 「ヒゼキヤは、お前たちに、主が必ず我々を救い出してくださる。決してこの都がアッシリアの王の手に渡されることはない、と言って主に依り頼ませようとするが、そうさせてはならない。…これらの国々のすべての神々のうち、どの神が自分の国をわたしの手から救い出したか。それでも主はエルサレムをわたしの手から救い出すと言うのか。」

36:15,20

• ヒゼキヤからイザヤへのメッセージ

- 「ヒゼキヤ王はこれを聞くと衣を裂き、粗布を身にまとして主の神殿に行った。」37:1
- 「生ける神をののしるために、その主君、アッシリアの王によって遣わされて来たラブ・シャケのすべての言葉を、あなたの神、主は恐らく聞かれたことであろう。あなたの神、主はお聞きになったその言葉をとがめられるであろうが、ここに残っている者のために祈ってほしい。」37:4

• イザヤからのメッセージ

- 「イザヤは言った。「あなたたちの主君にこう言いなさい。『主なる神はこう言われる。あなたは、アッシリアの王の従者たちがわたしを冒涇する言葉を聞いても、恐れてはならない。見よ、わたしは彼の中に霊を送り、彼がうわさを聞いて自分の地に引き返すようにする。彼はその地で剣にかけられて倒される。』」37:6-7

• アッシリア軍からの更なる脅し

- 南からクシュの軍隊が攻め上がってくるとの情報
- 「ユダの王ヒゼキヤにこう言え。お前が依り頼んでいる神にだまされ、エルサレムはアッシリアの王の手に渡されることはない、と思ってはならない。お前はアッシリアの王たちがすべての国々を滅ぼし去るために行ったことを聞いているであろう。それでも、お前だけが救い出されると言うのか。」37:10-11

ヒゼキヤの祈り

ヒゼキヤはこの手紙を使者の手から受け取って読むと、主の神殿に上って行った。ヒゼキヤはそれを主の前に広げ、主の前で祈った。

「ケルビムの上に座しておられるイスラエルの神、万軍の主よ。あなただけが地上のすべての王国の神であり、あなたこそ天と地をお造りになった方です。主よ、耳を傾けて聞いてください。主よ、目を開いて御覧ください。生ける神をののしるために人を遣わしてきたセンナケリブのすべての言葉を聞いてください。

主よ、確かにアッシリアの王たちはすべての王国とその国土を荒らし、その神々を火に投げ込みましたが、それらは神ではなく、木や石であって、人間が手で造ったものにすぎません。彼らはこれを滅ぼしてしまいました。わたしたちの神、主よ、どうか今、わたしたちを彼の手から救い、**地上のすべての王国が、あなただけが主であることを知るに至らせてください。**」37:14-20

模範的な祈り

- 主の前にすべてを明らかにした
 - まず神殿に上って祈った
 - そこで「ヒゼキヤはそれを主の前に広げ、主の前で祈った。」
- 創造主であり唯一の神であることを認めた
 - 「あなただけが地上のすべての王国の神であり、あなたこそ天と地をお造りになった方です。」
- 主だけがの神であることを知らしめるために
 - 「主よ、どうか今、わたしたちを彼の手から救い、地上のすべての王国が、あなただけが主であることを知るに至らせてください。」
 - **自分や自分の国のために祈ったのではない！**

イザヤを通しての主の言葉

主がアッシリアの王に向かって告げられた言葉はこうである。…お前は誰をののしり、侮ったのか／誰に向かって大声をあげ／高慢な目つきをしたのか。イスラエルの聖なる方に向かってではなかったか。…お前がわたしに向かって怒りに震え／その驕りがわたしの耳にまで昇ってきたために／わたしはお前の鼻に鉤をかけ／口にくつわをはめ／お前が来た道を通って帰って行くようにする。…彼は来た道を引き返し／この都に入城することはない、と主は言われる。わたしはこの都を守り抜いて救う／わたし自らのために、わが僕ダビデのために。(37:22-35抜粋)

成就した預言

- アッシリア軍を打たれた主
 - 「主の御使いが現れ、アッシリアの陣営で十八万五千人を撃った。朝早く起きてみると、彼らは皆死体となっていた。」37:36
- アッシリアに帰ったセンナケリブ王
 - 「アッシリアの王センナケリブは、そこをたって帰って行き、ニネベに落ち着いた。」
- 謀反が起き、殺されたセンナケリブ王
 - 「彼が自分の神ニスロクの神殿で礼拝しているときに、二人の息子アドラメレクとサルエツェルが彼を剣にかけて殺した。」<37:7の預言

王の預言者

- 人生に起こる危機的状況
 - もちろん主はご存じである
- 「困った時」ではなく「常に」主に頼っている
 - 「ヒゼキヤは、お前たちに、主が必ず我々を救い出してくださる。…と言って」
- どのように祈るか
 - 主の前に出る・さらけ出す・祈ってもらう
 - 主の名誉と栄光を願って祈る
- 主はメッセージ(御言葉)によって励まされる
 - ヒゼキヤにはイザヤがいた
 - 私たちには